

## 2013年初夏の植物2点

植物観察を続けて4年目になりました。梅雨の晴れ間のある日、仲間と弁当を持って近くにある国定公園「飛水峡」へ植物観察に出かけました。この日もいくつかの植物たちに出会いましたが2点紹介します。



一つ目は、イワツツジ。6月中旬までが見ごろですが、野生固有種としてこの飛騨川水系の岩場に多く生息しています。イワツツジは中部地方以北の山に分布しているそうですが痩せた岩場の裂け目に根を張って咲く姿には感動します。背丈は数十センチ程しか在りませんが「飛水峡」の名物として毎年多くの人が訪れていますが、心無いハイカー一達が庭に植えようと持ち帰るようです。しかしこの固有種を持って帰っても育つことは無いようです。



二つ目は、ツチアケビ。本当に奇妙な植物で「きのこの化け物」かとびっくりしました。ラン科の植物で背丈は50Cmぐらいありましたが、まだこれかも伸びて1mぐらいになり秋には赤い実を付けるとの事。実はアケビに似ており10Cmぐらいの大きさになります。葉は無くいきなり地上からによきによきと伸びており、茎は結構硬く地下では樹木の根などに寄生しているとの事でした。とにかく始めて目にするものでハイカーなどに踏み荒らされないかと心配しています。